

編集後記

今号の『藤女大学国文学雑誌』は、本学科の元・現専任教員四人の、計四本の論文から成っています。今号は合併号でありながら、掲載論文が四本にとどまり、編集担当者としての力不足を痛感しています。

四人の執筆者のうち、本学名誉教授の丸山先生は、昨年三月に退職された後も、御研究を精力的に続けられていて、今号にも御投稿いただきました。

巻頭論文の執筆の水口幹記准教授は、丸山先生の後任として昨年四月に本学に着任されました。本誌での、デビュー論文です。今後の、本誌での継続的な発表を期待します。関谷博教授は、ホームグラウンドというべき露伴研究の論考です。漆崎の論文は、本誌前号拙稿に関連するものです。

筆者は、一年間の国内研究を終え本学に昨年四月に復帰しましたが、今年度は学校教育法の改変への対応に揺れ動いた一年でもあったように思われます。大学教員の研究環境等は、様々な要因でますます厳しいものになっていくことが懸念されますが、あるいはだからこそ、研究者としての矜持を失わないために、成果の発表を怠ってはなるまいと思う次第です。

昨年十月八日に、本学元教授藤村潔先生がご逝去されました。

享年九十二歳でした。藤村先生は、一九六九年四月から一九九二年三月までの二十三年間本学に勤務されました。本誌にも多数の論文を執筆され、藤村先生と北海道大学教授でいられた故大朝雄二先生とで展開された「鶉の嘴―源氏物語主題論争―」の連載は、本誌の目玉ともなりました。源氏研究に心血を注がれた学究であられました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(漆)

二〇一五年三月二十五日
二〇一五年三月三十日

印刷
発行

藤女子大学 国文学雑誌

(第91・92 合併号)

定価 五〇〇円 送料八〇円
振替 〇二七〇〇一四一六八〇七番

編集人 菅 本 康 之
発行人

札幌市北区北十六条西二丁目

発行所 藤女子大学日本語・日本文学科研究室内

藤女子大学日本語・日本文学大

印刷所 札幌市中央区北六条西十五丁目

(株)491アヴァン札幌